

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	映像と社会 (Visual Expression and Society)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	映像メディアと現代社会の関係について		
担当者名 (Instructor)	築地 正明(TSUKIJI MASAOKI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2300	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標 (Course Objectives)

現代における「映像と社会」の相互関係についての理解を深め、今日の複雑かつ多様な「映像社会」を生きるために必要な姿勢と、批判的意識を身につけることを目指します。

The aim is to deepen students' understanding of the relationship between "visual media" and "society" in the present age, and for students to acquire the attitude and critical awareness necessary to live in today's complex and diverse "visual media-based society."

授業の内容 (Course Contents)

私たちが生きる21世紀の社会は、高度な映像技術を基盤として成立しています。この授業では、現代社会の在り方を示した作品を、多様な角度から取り上げ、視聴し、それに基づいて考察を行います。なお取り上げる作品は、比較的古い映画が中心となります。映像史において、重要な問題提起をした作品を鑑賞します。扱う作品および監督については、その都度、説明、解説を行います。また以下の授業計画は、全体の流れの大まかな目安と考えてください。

The 21st century society in which we live is based on advanced media technology. In this course, we will take up works that are representative of contemporary society from various angles, view them, and consider them based on this. The works to be taken up are mainly older films. We will carefully watch works that have raised important issues in the history of visual media. We will explain and comment on the works and directors that we deal with each time. In addition, please consider the following course plan as a rough guide of the overall flow.

授業計画 (Course Schedule)

1. イントロダクション 19世紀、映像の誕生
2. 映像の前史 映像の起源とメカニズム、および哲学との関係
3. リュミエール兄弟による「シネマトグラフ」の発明
4. フィクションとドキュメンタリー
5. ドキュメンタリーとは何か？ 映像による記録の意義と問題点
6. 映像メディアと政治のつながり
7. 中間まとめ
8. 作品の鑑賞および解説(1)
9. 作品の鑑賞および解説(2)
10. 作品とその思想(1)
11. 作品とその思想(2)
12. 現代の映像社会の在り方について考える(1)
13. 現代の映像社会の在り方について考える(2)
14. 全体まとめ 要約と結論

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

この授業では、ただ映像の歴史を学ぶだけではなく、学習した内容をもとに、自分自身で調べたり考えたりして、問題提起する能力を身につけることを目標としています。そのため、授業時間以外には、授業内で言及する作品やテキストに積極的に触れるようにして、授業内容の理解を各自で深めていくことが重要です。「映像と社会」について真剣に考えてみたい人を歓迎します。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(70%)/授業内で計3回の小課題を出題する。(30%)

テキスト(Textbooks)

1. 築地正明、2019、『わたしたちがこの世界を信じる理由』、河出書房新社 (ISBN:978-4-309-24936-0)
授業内でレジュメ、プリント(テキスト及び参考文献のコピー等)を配布しますが、読解力を養うために、できる限り自主的にテキスト

トを読むようにしてください。

参考文献 (Readings)

1. 日高優 編、2016、『映像と文化』、幻冬舎 (ISBN:978-4-344-95302-4)
その他、授業内で適宜紹介していきます。

その他(HP等) (Others(e.g.HP))

フィードバックは、授業内で適宜おこないます。

参考図書を紹介したページ。

https://honto.jp/booktree/detail_00010690.html

注意事項 (Notice)